

一般口頭発表
【第1日目12月1日(火)】

1T17	第17会場(神戸国際会議場 4F 401)	9:00-11:30
発生・再生 I		
オーガナイザー：大澤 志津江(京都大学) 鈴木 淳史(九州大学)		
1T17-01	(1P0908)	[9:00]
ソリトン波様細胞集団運動における接着分子の役割 桑山 秀一(筑波大・生命環境・生物科学)		
1T17-02	(1P0909)	[9:10]
バラのトゲパターンの発見とその形態形成メカニズムの提案 網歳 和見 ¹ , 伊藤 浩史 ² (¹ 東大・院新領域, ² 九大・芸工院)		
1T17-03	(1P0910)	[9:20]
体節形成におけるスケーリング：濃度勾配が移動波か 石松 愛, メガソン ショーン (ハーバード医科大学 システム生物学専攻)		
1T17-04	(1P0911)	[9:30]
FRETセンサーによる胚全体にかかる張力の可視化 山下 慧 ¹ , 坪井 貴司 ¹ , 北口 哲也 ² , 道上 達男 ¹ (¹ 東大・総文・広域科学, ² 早稲田シンガポール研・Cell Signaling Group)		
1T17-05	(1P0912)	[9:40]
2つの異なるヘパラン硫酸ナノ構造がXenopus胚においてモルフォゲンの濃度勾配形成を制御する 山元 孝佳 ¹ , 三井 優輔 ^{1,2} , 大塚 祐太 ¹ , 池田 貴史 ¹ , 高田 慎治 ¹ , 平良 真規 ¹ (¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻分子生物学研究室, ² 基礎生物学研究所分子発生学研究部門)		
1T17-06	(1P0913)	[9:50]
CUL-3 E3 ubiquitin ligaseは新規細胞分裂方向制御機構を介して線虫 <i>C. elegans</i> の背腹軸を決定する 杉岡 賢史, Bruce Bowerman (オレゴン大学)		
1T17-07	(1P0914)	[10:00]
PCP morphogenesis in an edgeless epithelium Dong-yuan Chen ¹ , Katherine R. Lipari ¹ , Yalda S. Dehghan ¹ , Sebastian J. Streichan ² , David Bilder ¹ (¹ Department of Molecular and Cell Biology University of California, Berkeley, ² Kavli Institute of Theoretical Physics University of California, Santa Barbara)		
1T17-08	(1P0915)	[10:10]
Wnt proteins serve as directional cues for the Par-complex polarity and the Drosophila nervous tissue growth Shigeki Yoshiura, Fumio Matsuzaki (RIKEN CDB)		
1T17-09	(1P0916)	[10:20]
左右非対称な内臓捻転における細胞挙動の解明 稲木 美紀子 ¹ , 本多 久夫 ² , 松野 健治 ¹ (¹ 阪大・院理・生物科学, ² 神大・院医・医科学)		
1T17-10	(1P0917)	[10:30]
Hippo経路を介した発生ロバストネス制御機構の遺伝学的解析 和田 弥生 ¹ , 大澤 志津江 ¹ , 井垣 達吏 ^{1,2} (¹ 京都大学・生命科学研究所・システム機能学, ² 科学技術振興機構さきがけ)		
1T17-11		
演題取り下げ		
1T17-12	(1P0919)	[10:40]
ショウジョウバエ前胸腺において, TORによって惹起されるEndocycleはエクジソン産生に必須である 大原 裕也 ^{1,2} , 山中 直岐 ² (¹ 静岡県立大学, ² カリフォルニア大学リバーサイド校)		

1T17-13 (1P0952) [10:50]

単一の個人から分離された線維芽細胞とそれから作られたiPS細胞のDNAメチル化解析

堀江 信之¹, 加治 和彦^{2,3}, 山中 伸弥¹, 高橋 和利¹ (¹名古屋女子大・家政・食物栄養, ²日本薬科大・生命医療薬学分野, ³(株)コーセー, ⁴京大・iPS研究所)

1T17-14 (1P0953) [11:00]

細胞極性蛋白質aPKCλは毛包幹細胞の休眠状態の維持に必要である

長田 真一^{1,2}, 峰松 直子¹, 小田 文乃¹, 秋本 和憲³, 川名 誠司¹, 大野 茂男³ (¹日本医大・皮膚科, ²秋田大・院医・皮膚科/形成外科, ³横市大・院医・分子生物)

1T17-15 (1P0954) [11:10]

脂肪組織由来間葉系幹細胞に高発現するGpr3を介した脂肪分化調節機構の解明

内山 瑛美¹, 山口 賢彦¹, 須山 大輔¹, 山崎 泰広¹, 五十里 彰², 菅谷 純子¹ (¹静岡県立大学・薬, ²岐阜薬科大学・生化学)

1T18 第18会場(神戸国際会議場 4F 402) 9:00-11:30

神経科学 I

オーガナイザー：荒木 敏之(国立精神・神経医療研究センター)
中島 欽一(九州大学)

1T18-01 (1P1255) [9:00]

マウス神経芽腫細胞株Neuro2aのレチノイン酸誘導性神経分化におけるビトロネクチン及びその受容体インテグリンの機能解析

菅原 京加, 山口 彩乃, 中沖 優里, 真狩 ゆき, 宮本 泰則 (お茶大院・人間文化・ライフ)

1T18-02 (1P1256) [9:10]

神経前駆細胞におけるNecdinによる上皮成長因子受容体シグナルの制御機構

藤本 泉, 長谷川 孝一, 藤原 一志郎, 吉川 和明 (阪大・蛋白研・神経発生制御)

1T18-03 (1P1257) [9:20]

神経幹細胞のradial fiberは幹細胞維持のためのシグナル伝達分子の輸送の場として機能する

下向 敦範¹, 今野 大治郎¹, 下郡 智美², 後藤 明弘³, 高田 慎治¹, 松田 道行¹, 松崎 文雄¹ (¹理研・多細胞システム・非対称細胞分裂, ²理研・BSI・視床発生, ³理研・BSI・記憶メカニズム, ⁴岡崎統合バイオサイエンス・分子発生, ⁵京大院・生命・生体制御)

1T18-04 (1P1258) [9:30]

クロマチンリモデリング因子CHD8はオリゴデンドロサイトの分化に必須である

川村 敦生, 西山 正章, 片山 雄太, 中山 敬一 (九大・生医研・分子医科学)

1T18-05 (1P1259) [9:40]

ヒト神経幹細胞の発生進行に伴った性質変化には低酸素条件が重要である

安井 徹郎^{1,3}, 上蘭 直弘^{2,3}, 野口 浩史³, 村尾 直哉³, 松田 泰斗³, 中島 欽一³ (¹九大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ²鹿児島大学医学部 整形外科, ³九州大学大学院 応用幹細胞医科学部門 基盤幹細胞学分野)

1T18-06 (1P1260) [9:50]

Pathological brain development elicited by heterogeneous activation of stress responsive signaling under exposure to environmental stress

Seiji Ishii¹, Meenu Rajendraprasad¹, Alexander Son¹, Yury Morozov², Akira Nakai³, Valerie Mezger^{4,5}, Pasko Rakic², Masaaki Torii^{1,2,6}, Kazue Hashimoto-Torii^{1,2} (¹Center for Neuroscience Research, Children's National Medical Center, ²Department of Neurobiology and Kavli Institute for Neuroscience, Yale University School of Medicine, ³Department of Biochemistry and Molecular Biology, Yamaguchi University School of Medicine, ⁴CNRS, UMR7216 Epigenetics and Cell Fate, ⁵University Paris Diderot, ⁶Department of Cell and Neurobiology, Keck School of Medicine, University of Southern California)

1T18-07 (1P1261) [10:00]

Rap1活性化因子であるRapgef2の大脳皮質発生過程における脳室面の接着構造(接着帯)の制御における役割

前田 和宏, 枝松 裕紀, 片岡 徹 (神戸大・院医・分子生物学)

1T18-08 (1P1262) [10:10]

脳に発現する新規膜貫通型ユビキチンリガーゼの生理的意義

高井 知子, 和田 有希子, 白石 貫馬, 今泉 和則, 金子 雅幸 (広大・院医薬保・分子細胞情報)

1T18-09 (1P1263) **[10:20]**

神経系におけるユビキチンリガーゼZNRF2の基質同定

川岸 理紗^{1,2}, 金成 広樹¹, 徳永 慎治¹, 荒木 敏之¹ (¹国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第五部, ²東京農工大・工学府・生命工学)

1T18-10 (1P1264) **[10:30]**

サイクリックヌクレオチドは微小管依存的な先端突出の制御を介して軸索の伸長方向を決定する

秋山 博紀^{1,2}, 福田 徹子¹, 戸島 拓郎^{1,3}, 上口 裕之¹ (¹理研・BSI, ²早大・人科, ³JST・さきがけ)

1T18-11 (1P1265) **[10:40]**

細胞膜を透過し神経突起を伸長させる人工蛋白質キメラニューログロビンの機能解析

高橋 望, 若杉 桂輔 (東大・総合文化・生命環境)

1T18-12 (1P1266) **[10:50]**

正中線交叉における交連軸索のSlit応答性スイッチの分子基盤：Robo1細胞内輸送系とArf6シグナリングの役割

河田 純一¹, 木下 河田 真理子², 長谷川 潤³, 本宮 綱記³, 柳 茂⁴, 金保 安則³, 政井 一郎⁵, 康 東天⁶, Yi Rao⁷, Jane Y. Wu⁸ (¹九大・先端医療, ²福岡大・医・神経内科, ³筑波大・医学医療系・生理化学, ⁴東京薬科大・生命科学・分子生化学, ⁵沖縄科学技術大学院大学, ⁶九大・院医・臨床検査医学, ⁷北京大・生命科学, ⁸Northwestern大・医・神経学)

1T18-13 (1P1267) **[11:00]**

Genetic Dissection of Motor Coordination in *C. elegans*

Kota Mizumoto (Dept. of Zoology, Univ. of British Columbia)

1T18-14 (1P1299) **[11:10]**

Arginine vasopressin V1a and V1b receptors in the suprachiasmatic nucleus have a role in generating phase differences in cellular circadian oscillations

Yoshiaki Yamaguchi¹, Yasutaka Mizoro¹, Hiroshi Kori², Hitoshi Okamura¹ (¹Dept. of Systembio., Grad. Sch. of Pharm., Kyoto Univ., ²Dept. of Info. Sci., Ochanomizu Univ.)

1T18-15 (1P1300) **[11:20]**

温度適応における温度受容ニューロンと下流組織の分子制御機構

宇治澤 知代¹, 宇多 美里¹, 井伊 辰也², 井伊 美紀², 太田 茜¹, 久原 篤¹ (¹甲南大・統合ニューロバイオロジー研究所, ²アラスカ大・アンカレッジ校・生物科学)

1T特 特設会場(神戸国際会議場 4F 403) **9:00-11:30**

糖質生物学・脂質生物学 I

オーガナイザー：北川 裕之(神戸薬科大学)
平林 義雄(理化学研究所)

1T特-01 (1P0260) **[9:00]**

卵保護膜糖蛋白質gp41と受精調節蛋白質ダイカルシンの相互作用による卵保護膜微細構造の制御

三輪 尚史, 高松 研 (東邦大・医・生理)

1T特-02 (1P0261) **[9:10]**

ウシ透明帯タンパク質ZP4は多価化により精子結合活性を示す

織田 美咲, 建部 七海, 上田 美冬, 浅井 奈穂, 田中 宏明, 米澤 直人 (千葉大・院理・基盤理学)

1T特-03 (1P0262) **[9:20]**

Integrin alpha5 suppresses the phosphorylation of EGFR and its cellular signaling via N-glycosylation

Qinglei Hang, Tomoya Isaji, Sicong Hou, Sanghun Im, Tomohiko Fukuda, Jianguo Gu (Div. of Regulatory Glycobiology, Tohoku Pharm. Univ.)

1T特-04 (1P0263) **[9:30]**

糖鎖改変・可溶性ErbB3による抗腫瘍作用の分子メカニズム

高橋 素子¹, 加藤 公児², 姚 関², 和田 芳直³, 田尻 道子³, 長谷川 喜弘¹, 高宮 里奈¹, 有木 茂¹, 黒木 由夫¹ (¹札幌医大・医・化学, ²北大・院・先端生命科学研究院・X線構造生物学, ³大阪府立母子保健総合医療センター・代謝部門)

1T特-05 (1P0264)	[9:40]
がんエクソソームの骨髄輸送における糖鎖の機能解明に向けた基礎的研究	
原田 陽一郎 ¹ , 鈴木 健裕 ² , 堂前 直 ² , 丸山 征郎 ¹ (¹ 慶大・院医歯学・システム血拴制御学, ² 理研・環境資源科学研究セ・生命分子解析ユニット)	
1T特-06 (1P0265)	[9:50]
成人T細胞白血病(ATL)細胞に特異的に発現する糖鎖構造に対する分子標的療法のための一本鎖抗体(scFv)の開発	
戸高 太郎 ¹ , 靱馬 奏萌 ² , 若尾 雅広 ¹ , 藤垣 舞 ¹ , 松本 光 ¹ , 伊東 祐二 ¹ , 隅田 泰生 ^{1,3} (¹ 鹿児島大・院理工, ² 鹿児島大・工, ³ スディックスバイオテック)	
1T特-07 (1P0266)	[10:00]
神経細胞の分化過程におけるコンドロイチン硫酸の合成制御機構	
灘中 里美 ¹ , 山田 英美 ¹ , 中村 侑 ¹ , 谷口 麻衣 ² , 吉田 秀郎 ² , 北川 裕之 ¹ (¹ 神薬大・薬, ² 兵庫県立大・理)	
1T特-08 (1P0267)	[10:10]
グリコサミノグリカンの生合成に関わるグルクロン酸転移酵素-Iの変異によるインドネシアのニアス島で見つかった骨疾患	
水本 秀二 ^{1,2} , Birgit S. Budde ³ , 古川 諒 ¹ , Christian Becker ³ , Janine Altmuller ³ , Holger Thiele ³ , Franz Ruschendorf ⁴ , Mohammad R. Toliat ³ , Gerrit Kaleschke ⁵ , Johannes M. Hammerle ⁶ , Wolfgang Hohne ³ , 菅原 一幸 ^{1,2} , Peter Nurnberg ³ , Ingo Kennerknecht ⁷ (¹ 北大院・生命, ² 現所属・名城大・薬, ³ Univ. Cologne, Germany, ⁴ Max Delbruck Center for Mol. Med., Germany, ⁵ Univ. Hospital Munster, Germany, ⁶ Yayasan Pusaka Nias, Indonesia, ⁷ Westfälische Wilhelms Universität, Germany)	
1T特-09 (1P0268)	[10:20]
ヘパリン類似物質及びエピモルフィンによる癩痕モデル細胞の挙動変化	
堀米 知温 ¹ , 葛野 菜々子 ¹ , 栗山 健一 ² , 矢野 博子 ² , 中嶋 安弓 ² , 長谷川 友美 ² , 平井 洋平 ¹ (¹ 関西学院大学理工学部生命科学科, ² 小林製薬株式会社)	
1T特-10 (1P0344)	[10:30]
マウス精巣内ドコサヘキサエン酸含有量および精子形成に及ぼすヒトCYP2C発現の影響	
橋本 真里 ¹ , 小林 カオル ¹ , 香月 康宏 ^{2,3} , 髙原 昇子 ³ , 押村 光雄 ³ , 千葉 寛 ¹ (¹ 千葉大院・薬, ² 鳥取大院・医, ³ 鳥取大・染色体工学研究セ)	
1T特-11 (1P0345)	[10:40]
脂肪酸鎖長の伸長と短縮反応におけるペルオキシソームの役割	
清水 良多 ¹ , 魚住 幸加 ¹ , 森戸 克弥 ¹ , 大隅 隆 ² , 徳村 彰 ³ , 田中 保 ¹ (¹ 徳島大院・医歯薬・衛生薬学, ² 兵庫県立大院・生命理学, ³ 安田女子大・薬・衛生薬学)	
1T特-12 (1P0346)	[10:50]
若年マウス精巣における精巣脂肪滴と脂肪滴結合タンパク質の解析	
酒井 章衣, 北沢 勇也, 杉本 拓也, 大隅 隆 (兵庫県立大院・生命理学)	
1T特-13 (1P0347)	[11:00]
皮膚バリア形成に必須なアシルセラミドの産生にシトクロームP450ファミリータンパク質CYP4F22が関与する	
中略 翔太 ¹ , 大野 祐介 ^{1,2,3} , 神山 望 ³ , 木原 章雄 ^{1,2,3} (¹ 北大・院生命, ² 北大・院薬, ³ 北大・薬)	
1T特-14 (1P0348)	[11:10]
ラビリンチュラ類の油滴タンパク質LDRP1の2つの異なる機能	
飯見 勇哉 ¹ , 崎山 亮 ² , 関根 聡美 ² , 渡辺 昂 ³ , 安部 英里子 ³ , 野村 和子 ^{3,4} , 野村 一也 ⁴ , 石橋 洋平 ² , 沖野 望 ³ , 伊東 信 ^{3,5} (¹ 九大・農・生資環, ² 九大院・生資環・生命機能, ³ 九大院・農・生命機能, ⁴ 九大院・理・生物科学, ⁵ 九大院・農・i-BAC)	
1T特-15 (1P0349)	[11:20]
脂肪滴における中性脂肪およびリン脂質の脂肪酸組成と脂肪滴サイズの関連性	
有澤 琴子 ¹ , 市 育代 ² , 満留 悠 ² , 藤原 葉子 ³ (¹ お茶大・院ライフサイエンス, ² お茶大・生活科学部, ³ お茶大・基幹研究院)	

1T23 第23会場(神戸国際展示場 2F 2B会議室) 9:00-11:30

細胞の構造と機能 I

オーガナイザー：川内 健史(先端医療センター研究所)
奥 公秀(京都大学)

1T23-01 (1P0032)	Sar1 concentrates at the neck of COPII-coated vesicle <i>in vivo</i> Kazuo Kurokawa ¹ , Yasuyuki Suda ^{1,2} , Akihiko Nakano ^{1,3} (¹ Live Cell Super-resolution Imaging Research Team, RIKEN Center for Advanced Photonics, ² Laboratory of Molecular Cell Biology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ³ Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo)	[9:00]
1T23-02 (1P0033)	Sec16 N末端領域によるCOPIIタンパク質の制御とCOPII小胞の形成機構 依光 朋宏, 佐藤 健(東大・総合文化・生命環境)	[9:10]
1T23-03 (1P0034)	細胞外環境pHによるER exit siteの局在制御機構の解析 篠原 健太郎, 齋藤 康太, 堅田 利明(東京大学大学院薬学系研究科生理化学教室)	[9:20]
1T23-04 (1P0035)	COPI被覆小胞を介するSCAP-SREBP複合体のゴルジ体から小胞体への逆行輸送による脂質代謝の調節 船橋 輝記, 高島 皓平, 齋藤 明奈, 廣瀬 祥平, 申 惠媛, 中山 和久(京大院・薬・生体情報)	[9:30]
1T23-05 (1P0036)	ゴルジ体の機能調節における小胞体-ゴルジ体接触の役割 吉田 爽, 若菜 裕一, 大山 南菜子, 多賀谷 光男(東京薬大・生命)	[9:40]
1T23-06 (1P0037)	分裂酵母のゴルジ体膜で機能するロンボイドプロテアーゼの解析 田中 直孝 ¹ , 東 玲那 ¹ , 渋谷 大介 ¹ , 竹川 薫 ² , 田淵 光昭 ¹ (¹ 香川大・農・応用生物, ² 九大院・農・生物機能)	[9:50]
1T23-07 (1P0038)	RUTBC1はRab32/38の不活性化を通してメラニン合成酵素の輸送を調節する 大林 典彦 ² , 丸橋 総史郎 ² , 福田 光則 ¹ (¹ 筑波大・医・生理化学, ² 東北大院・生命・膜輸送機構解析)	[10:00]
1T23-08 (1P0039)	新規Varp結合分子・RACK1はVarpの安定化を介してメラノサイトのデンドライト伸長に關与する 丸橋 総史郎 ¹ , 大林 典彦 ^{1,2} , 福田 光則 ¹ (¹ 東北大院・生命・膜輸送機構解析, ² 筑波大・医・生理化学)	[10:10]
1T23-09 (1P0040)	神経突起伸長におけるRabin8の機能解析 本間 悠太, 福田 光則(東北大院・生命・膜輸送機構解析)	[10:20]
1T23-10 (1P0041)	分泌経路上の新規なRab-GAPカスケードとそのエンドサイトーシス輸送における役割 長野 真 ¹ , 河田 大樹 ¹ , 川村 苑子 ¹ , 十島 純子 ^{1,2} , 十島 二郎 ¹ (¹ 東京理大・基礎工・生物工, ² 東京工科大・医療保健)	[10:30]
1T23-11 (1P0042)	Arl3およびLC8による細胞質ダイニン-ダイナクチン輸送複合体からのCargo荷卸しの分子制御機構 山田 雅巳(大阪市大・医・細胞機能制御学)	[10:40]
1T23-12 (1P0043)	α-Synucleinのエクソソームによる細胞間伝達メカニズムの解析 佐藤 晶子 ¹ , 佐藤 望 ² , 加藤 渚 ² , 齋藤 彩夏 ² , 久保田 広志 ¹ , 田村 拓 ¹ (¹ 秋田大・工学資源・生命化学, ² 秋田大・理工・生命科学)	[10:50]
1T23-13 (1P0044)	SNAP-23のIKK2依存的なリン酸化によりファゴサイトーシスは制御される 櫻井 直恵 ¹ , 和田 郁夫 ² , 初沢 清隆 ¹ (¹ 鳥取大・医・生命科学・分子生物, ² 福島医大・医・生体情報伝達研・細胞科学)	[11:00]

1T23-14 (1P0045) [11:10]

新規核局在化シグナル受容体importin α 8の機能解析

宮本 洋一¹, 盛山 哲嗣¹, 木本 千裕¹, 辻井 聡¹, 五十嵐 芳暢², 小布施 力史³, 岡 正啓¹, 米田 悦啓⁴ (1)医薬基盤・健康・栄養研究所・細胞核輸送ダイナミクス, (2)医薬基盤・健康・栄養研究所トキシコゲノミクス・インフォマティクス, (3)北大 先端生命科学研究院・分子細胞生物学, (4)医薬基盤・健康・栄養研究所)

1T23-15 (1P0046) [11:20]

SILAC法と蛋白質核輸送再構成系によるimportin- β ファミリー輸送因子の輸送基質の大規模同定

木村 誠, 小瀬 真吾, 今本 高子 (理研・細胞核機能)

1T25 第25会場(神戸国際展示場 3F 3B会議室) 9:00-11:30

ゲノムと遺伝情報 I

オーガナイザー: 堀 哲也 (大阪大学)
胡桃坂 仁志 (早稲田大学)

1T25-01 (1P0556) [9:00]

5-hydroxymethylcytosine marks sites of DNA damage and is required for genome stability

Georgia R Kafer¹, Xuan Li¹, Takuro Hori², Isao Suetake^{3,4}, Shoji Tajima^{3,4}, Izuho Hatada², Peter M Carlton^{1,4} (1)CeMS, Kyoto Univ., (2)Biosignal Genome Resource Ctr., Inst. for Mol. and Cell. Regulation, Gunma Univ., (3)Inst. for Protein Rsrch., Osaka Univ., (4)CREST, Japan Science and Technology Agency)

1T25-02 (1P0557) [9:10]

メタノール資化酵母Hansenula polymorphaの新規な接合型変換機構

前川 裕美, 金子 嘉信 (阪大・院工・酵母リソース工学)

1T25-03 (1P0568) [9:20]

Xenopus laevis全ゲノム解析: 異質四倍体ゲノムの全貌とサブゲノム

平良 眞規¹, Xenopus laevisゲノムプロジェクト 国際コンソーシアム² (1)東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, (2)日本・米国)

1T25-04 (1P0569) [9:30]

DNAトポイソメラーゼII β は遺伝子間領域に作用し遠隔ゲノム部位間の相互作用を媒介する

古田 良平¹, 宮地 まり¹, 佐野 明明¹, 細谷 修¹, 姜志 始², 館野 賢², 筒井 公子¹, 筒井 研¹ (1)岡山大・院・医歯薬・神経ゲノム, (2)兵庫県大院・生命理学・機能理論)

1T25-05 (1P0570) [9:40]

STEMIによる3次元染色体高次構造観察

兼吉 航平, 笹倉 颯馬, 高田 英昭, 内山 進, 福井 希一 (阪大・院工・生命先端)

1T25-06 (1P0571) [9:50]

染色体スキャフォールドはスキャフォールドタンパク質の2本鎖構造をもつ

Rawin Poonperm¹, 高田 英昭¹, 濱野 徹¹, 松田 厚志^{2,3}, 内山 進¹, 平岡 泰², 福井 希一¹ (1)阪大・院工・生命先端, (2)阪大・院生命機能, (3)未来ICT研・情通研)

1T25-07 (1P0572) [10:00]

Overlapping dinucleosomeの構造生物学的および物理化学的解析

足立 風水¹, 越阪部 晃永¹, 堀越 直樹^{1,2}, 有村 泰宏¹, 七種 和美^{3,4}, 明石 知子³, 西村 善文³, 杉山 正明³, 松本 淳⁶, 河野 秀俊⁵, 胡桃坂 仁志^{1,2} (1)早大・院・先進理工, (2)早大・理工学研究所, (3)横浜市立大・生命医科, (4)広島大・院・理, (5)京大・原子炉実験所, (6)日本原子力研究開発機構)

1T25-08 (1P0573) [10:10]

染色体タンパク質複合体コヒーシンのDNA結合・解離反応の生化学的再構成

村山 泰斗¹, Frank Uhlmann² (1)東工大・生命理工・生シ, (2)フランススクリック研)

1T25-09 (1P0574) [10:20]

ヒストンH1シャペロンTAF-Iの分子内相互作用による活性制御機構

鍛谷 香織^{1,2}, 加藤 広介^{1,2}, 永田 恭介¹ (1)筑波大, (2)筑波大・医学医療系/人間総合科学・感染生物学)

1T25-10 (1P0575) [10:30]

クロマチンを基質としたコンデンシンの機能解析

竹内 康造¹, 木下 和久¹, 新富 圭史¹, 大隅 圭太², 平野 達也¹ (1)理研, (2)名大・院理・生命理学)

1T25-11 (1P0576)	[10:40]
伝子の転写開始点におけるコンデンシンとIIの局在の生理的意義の解明	
坂田 豊典, 中戸 隆一郎, 加藤 由起, 須谷 尚史, 坂東 優篤, 白髭 克彦 (東京大学分子細胞生物学研究所)	
1T25-12 (1P0577)	[10:50]
染色体構築過程におけるクロモキネシンKIF4AによるコンデンシンIの動態制御	
高橋 元子, 広田 亨 (がん研究会がん研究所 実験病理部)	
1T25-13 (1P0578)	[11:00]
hnRNP/SAF-A/SP120とDNAトポイソメラーゼIIβ複合体による神経細胞核のグローバルなクロマチン構造変換	
宮地 まり, 細谷 修, 古田 良平, 佐野 訓明, 筒井 公子, 筒井 研 (岡大・院・医歯薬・神経ゲノム学)	
1T25-14 (1P0579)	[11:10]
Pli1, an E3 Ligase for Tpz1 SUMOylation in Telomere Regulation, Interacts with Rif1 In Fission Yeast	
Mutiaru P. Ningtyas, Shiho Fujisawa, Tomoaki Arita, Katsunori Tanaka (Dept. of Bioscience, Grad. Sch. of Sci and Tech., Kwansei Gakuin Univ.)	
1T25-15 (1P0580)	[11:20]
DNA損傷依存的な姉妹染色分体間接着への核膜タンパク質の関与	
折原 行希 ¹ , 尾岡 由佳子 ¹ , 小西 辰紀 ¹ , 堀籠 智洋 ² , Susan Gasser ² , 原田 昌彦 ¹ (1東北大・院農・分子生物, 2FMI, Basel)	
1T17p 第17会場(神戸国際会議場 4F 401)	14:00-16:30
発生・再生 II	
オーガナイザー: 堀田 秋津(京都大学) 今井 祐記(愛媛大学)	
1T17p-01 (1P0955)	[14:00]
Histone demethylase, KDM4B, functions in mammary gland development	
Hitoshi Okada ^{1,2} , Kayoko Saso ² , Masahito Kawazu ³ , Akiyoshi Komuro ¹ , Kazushige Ota ¹ (1Dept. of Biochem., Faculty of MEd., Kindai Univ., 2Ontario Cancer Inst., 3Dept. Medical Genomics, Univ. of Tokyo, Grad. Sch. Med.)	
1T17p-02 (1P0956)	[14:10]
BETファミリー蛋白質とリダンドに機能する細胞運命決定機構	
柴田 幸政 ¹ , 竹下 遙 ¹ , 小中央 良二 ² , 澤 齊 ³ , 西脇 清二 ¹ (1関学・理工・生命, 2理研 CDB, 3遺伝研)	
1T17p-03 (1P0957)	[14:20]
FBXL12によるALDH3の分解はトロホラストの分化に必須である	
西山 正章, 仁田 暁大, 弓本 佳苗, 中山 敬一 (九大・生医研・分子医科学)	
1T17p-04 (1P0958)	[14:30]
Methylome, transcriptome, and PPARg cistrome analyses reveal two epigenetic transitions in fat cell differentiation	
Hitomi Takada ¹ , Yutaka Saito ^{1,2} , TOUTAI Mitsuyama ^{1,2} , Zong Wei ³ , Eiji Yoshihara ³ , Sandra Jacinto ³ , Michael Downs ³ , Ronald M. Evans ^{3,4} , Yasuyuki Kida ¹ (1BRD, AIST, 2JST, 3Gene Exp. Lab., Salk Inst. for Biol. Studies, 4Howard Hughes Med. Inst., Salk Inst. for Biol. Studies)	
1T17p-05 (1P0959)	[14:40]
ヒト人工多能性幹細胞から血液細胞を高効率で分化誘導する方法の開発	
北島 健二 ¹ , 中島 鞠乃 ^{1,2} , 鹿子田 真衣 ^{1,2} , 原 孝彦 ^{1,2} (1都医学研・幹細胞, 2東京医歯大院・医歯学)	
1T17p-06 (1P0960)	[14:50]
Modeling human kidney in pluripotent stem cells generates kidney organoids with self-organizing nephrons	
Minoru Takasato ^{1,2} , Pei X Er ^{1,2} , Han S Chiu ² , Barbara Maier ^{1,2} , Gregory J Baillie ² , Charles Ferguson ² , Robert G Parton ² , Ernst J Wolvetang ² , Matthias S Roost ³ , Susana M. Chuva de Sousa Lopes ³ , Melissa H Little ^{1,2,4} (1Murdoch Childrens Research Institute, 2The University of Queensland, 3Leiden University Medical Center, 4University of Melbourne)	

1T17p-07 (1P0961)	[15:00]
Casein kinaseとJmjd3の真獣類発生過程における細胞での概日リズム形成における役割	
西本 正純 ¹ , 奥田 晶彦 ¹ , 大西 芳秋 ² (1埼玉医大 ゲノムセンター 発生, 2産総研 バイオメディカル)	
1T17p-08 (1P0962)	[15:10]
Notch とTGFbetaシグナルによる肝細胞の分化可塑性の制御	
谷水 直樹 ¹ , 西川 祐司 ² , 三高 俊広 ¹ (1札幌医科大学, 2旭川医科大学)	
1T17p-09 (1P0963)	[15:20]
フィーダーフリー培養がiPS細胞に与える影響	
中川 誠人, 小野 美幸, 澤村 由香, 川原 優香, 岩崎 未央, 野村 優, 宮下 一条, 山中 伸弥 (京大・iPS細胞研)	
1T17p-10 (1P0964)	[15:30]
ヒト肝幹細胞における単一遺伝子疾患の遺伝子治療	
川又 理樹 ^{1,2,3} , Brian Pepe-Mooney ^{1,2,3} , Constantina Christodoulou ^{1,2,3} , Fernando Camargo ^{1,2,3} (1ボストン小児病院, 2ハーバード大学, 3ハーバード幹細胞研究所)	
1T17p-11 (1P0965)	[15:40]
BMPシグナル標的遺伝子Atoh8による骨芽細胞分化抑制	
八尋 雄平 ^{1,2} , 前田 真吾 ¹ , 森川 真大 ^{3,4} , 鯉沼 代造 ³ , 篠原 直弘 ^{1,2} , 松山 金寛 ^{1,2} , 河村 一郎 ^{1,2} , 横内 雅博 ² , 石堂 康弘 ¹ , 影山 龍一郎 ² , 宮園 浩平 ³ , 小宮 節郎 ^{1,2} (1鹿大・医歯研・医療関係材料開発, 2鹿大・医歯研・整形, 3東大・院医・分子病理学, 4Ludwig Ins. for Cancer Research, Sci. for Life Lab., Uppsala Univ., Sweden, 5京大・ウイルス研)	
1T17p-12 (1P0966)	[15:50]
新規レポーターベクターによるmicroRNA活性の継続的検出はiPS細胞の分化モニタリングを可能にする	
中西 秀之 ^{1,2} , 三木 健嗣 ¹ , 吉田 善紀 ¹ , 齊藤 博英 ¹ (1京大・iPS研・未来生命, 2日本学術振興会)	
1T17p-13 (1P0967)	[16:00]
オリゴデンドロサイト前駆細胞は低酸素環境で体性幹細胞化する	
徳元 康人 ^{1,2} , 玉置 親平 ^{1,2} , 末松 誠 ^{1,2} (1慶応大・医・医科学, 2JST-ERATO, 末松ガスバイオPj)	
1T17p-14 (1P0968)	[16:10]
Multi-colour labelling system for tracking cell-to-cell heterogeneity of human pluripotent stem cells	
Ryota Saeki ^{1,2} , Takao Nakano ^{1,2} , Akitsu Hotta ^{2,3} (1Grad.Sch of med., Kyoto Univ, 2Dept. of Life Science Frontier, CiRA, Kyoto Univ, 3Institute for Integrated Cell-Material Science(CeMS) Kyoto Univ)	
1T17p-15 (1P0969)	[16:20]
筋衛星細胞の新規分化制御機構の解析	
林 晋一郎 ¹ , 大石 由美子 ¹ , 真鍋 一郎 ² (1東京医科歯科大・難研, 2東大・院医・循環器内科)	
1T18p 第18会場(神戸国際会議場 4F 402)	14:00-16:30
神経科学 II	
オーガナイザー: 佐藤 純(金沢大学) 坪井 昭夫(奈良県立医科大学)	
1T18p-01 (1P1277)	[14:00]
RNG105ヘテロ欠損マウスの網羅的行動解析—社会的相互作用・新奇対象への反応の低下	
大橋 りえ ^{1,2} , 高雄 啓三 ^{3,5,6} , 宮川 剛 ^{4,5} , 椎名 伸之 ^{1,2,3} (1基生研・神経細胞生物, 2総研大・基礎生物学, 3岡崎統合バイオ, 4藤田保健衛生大・システム医科学, 5生理研・行動様式, 6総研大・生理学)	
1T18p-02 (1P1278)	[14:10]
X染色体連鎖性精神遅滞の分子機構解明に関する研究	
永芳 友 ¹ , 魏 范研 ¹ , 貝塚 拓 ¹ , 藤村 篤史 ¹ , 平田 翔児 ² , 鈴木 健夫 ² , 鈴木 勉 ² , 富澤 一仁 ¹ (1熊大・分子生理, 2東大・工学・化学生命工学)	
1T18p-03 (1P1279)	[14:20]
線虫の記憶学習に関わるニューロンタイプ特異的な選択的スライシングの制御機構	
富岡 征大 ¹ , 内藤 泰樹 ² , 黒柳 秀人 ² , 飯野 雄一 ^{1,2} (1東大・院理・遺伝子, 2東大・院理・生物学, 3医科歯科大・難研)	

1T18p-04 (1P1280)

[14:30]
初期応答遺伝子*Hr38*はCREBの下流遺伝子として発現し、キロシヨウジョウバエの長期求愛記憶の形成を促進する

 箕口 昌杜¹, 大村 知世¹, 長田 有加¹, 佐藤 翔太², 坂井 貴臣², 岩見 雅史¹, 木矢 剛智¹ (¹金沢大・理工・自然システム・生物,²首都大・理工・生命科学)

1T18p-05 (1P1281)

[14:40]
視交叉上核神経ペプチドが誘導する雌雄で異なるマウス概日行動の制御

 杉山 真季子^{1,2}, 元松 雄大^{1,2}, 梶山 祥太^{1,2}, 亀田 朋典^{1,2}, 斎藤 辰弥^{1,2}, 内村 恵梨子^{1,2}, 松尾 文香^{1,2}, 劉 曉輝^{1,2}, 松島 綾美^{1,2}, 下東 美樹³, 下東 康幸^{1,2} (¹九大院理・化学,²リスクサイエンス研教拠点,³福岡大・理・地球圏科学)

1T18p-06 (1P1282)

[14:50]
痛覚受容ニューロンは樹状突起Ca²⁺上昇を介した特異的発火パターンの生成により逃避行動を亢進させる
小野寺 孝賢¹, 寺田 晋一郎¹, 松原 大佑¹, 松崎 政紀², 上村 匡¹, 碓井 理夫¹ (¹京大・院生命,²基生研)
1T18p-07 (1P1283)

[15:00]
Identification of brainstem neurons that play critical roles in sleep/wake and REM/NREM sleep regulation

 Mitsuoaki Kashiwagi¹, Mika Kanuka¹, Masanori Sakaguchi¹, Shigeyoshi Itohara², Yu Hayashi^{1,3} (¹International Institute for Integrative Sleep Medicine (WPI-IIS), Univ. of Tsukuba, ²Laboratory for Behavioral Genetics, Brain Science Institute, RIKEN, ³Japan Science and Technology Agency (JST), PRESTO)

1T18p-08 (1P1284)

[15:10]
記憶の維持と加齢性記憶障害におけるインスリン様シグナルの重要な役割

田辺 憲人, 伊藤 素行, 殿城 亜矢子 (千葉大・院薬・生化学)

1T18p-09

演題取り下げ

1T18p-10 (1P1286)

[15:20]
A specific subtype of newborn interneurons in the olfactory bulb is required for behaviors on odor detection and discrimination

 Hiroo Takahashi¹, Sei-ichi Yoshihara¹, Yoichi Ogawa², Masahito Kinoshita¹, Ryo Asahina¹, Akio Tsuboi¹ (¹Lab for Mol Biol of Neural System, Nara Med Univ, Kashihara, Japan, ²Dep of Physiol I, Nara Med Univ, Kashihara, Japan)

1T18p-11 (1P1287)

[15:30]
BARPノックアウトマウスの網羅的行動解析

 中尾 章人¹, 昌子 浩孝^{1,2}, 森 泰生³, 宮川 剛^{1,3,4} (¹藤田保健衛生大学・総医研・システム,²CREST,³京大・院工・合成・生物化学,⁴生理研・行動・代謝分子解析センター)

1T18p-12 (1P1288)

[15:40]
Searching for *fru*-target genes that regulate the development of sexual dimorphisms in *Drosophila* central neurons

 Hiroki Ito¹, Kosei Sato¹, Shu Kondo², Ryu Ueda², Daisuke Yamamoto¹ (¹Tohoku Univ. Grad. Sch. of Life Sci., ²NIG)

1T18p-13 (1P1316)

[15:50]
Bioinformatic Identification and Characterization of Neuroactive Peptides from the Venom Duct Transcriptome of the Toxoglossate Mollusc *Gemmula speciosa*

Dominic S. Albao, Monica Kryzelle B. Fortes, Jobi F Subosa, Cynthia Palmes-Saloma (Natl. Inst. of Mol. Bio. and Biotech., Coll. of Sci., Univ. of the Philippines Diliman)

1T18p-14 (1P1317)

[16:00]
ヒト大脳皮質の神経回路の三次元解析

 藤巻 知央¹, 菊池 亜弥¹, 蓮見 真子¹, 竹腰 進², 井野元 智恵², 中村 直哉², 坪井 秋男², 大澤 資樹², 新井 誠³, 大島 健一³, 糸川 昌成³, 上杉 健太郎¹, 竹内 晃久⁴, 寺田 靖子⁴, 鈴木 芳生⁴, 雑賀 里乃¹, 水谷 隆太¹ (¹東海大・工,²東海大・医,³都医学総合研,⁴高輝度光科学研究セ/SPring-8)

1T18p-15 (1P1318)

[16:10]
線虫*C. elegans*において精子が温度受容ニューロンをフィードバック制御する

園田 悟, 太田 西, 宇治澤 知代, 圓尾 綾菜, 久原 篤 (甲南大・統合ニューロバイオロジー研究所)

1T特p 特設会場(神戸国際会議場 4F 403) 14:00-16:30

糖質生物学・脂質生物学 II

オーガナイザー：新井 洋由(東京大学)
横田 博(酪農学園大学)

1T特p-01 (1P0302) [14:00]

Rim21は細胞質領域の荷電アミノ酸残基を用いて細胞膜の脂質非対称を感知する
西野 佳菜子¹, 小原 圭介^{1,2}, 木原 章雄^{1,2} (¹北大・薬, ²北大・院・薬)

1T特p-02 (1P0303) [14:10]

ショウジョウバエ細胞の特異なリン脂質膜の形成機構の解析
塩見 晃史¹, 長尾 耕治郎¹, 村手 源英², 小林 俊秀², 梅田 真郷¹ (¹京大・院工・合成・生物化学, ²理研)

1T特p-03 (1P0304) [14:20]

骨格筋形成・膜修復におけるリン脂質フリッパーゼの役割
西岡 諒太郎, 土谷 正樹, 原 雄二, 梅田 真郷 (京大・院工・合成生物)

1T特p-04 (1P0306) [14:30]

XIIA型分泌性ホスホリパーゼA₂はIgE依存的な即時型アレルギーを増強する
砂川 アンナ^{1,2}, 武富 芳隆¹, 佐藤 弘泰¹, 小林 哲幸², 村上 誠^{1,3} (¹都医学研・脂質代謝, ²お茶大院・人間文化創成科学・ライフサイエンス, ³AMED-CREST)

1T特p-05 (1P0308) [14:40]

細胞内型ホスホリパーゼA1ノックアウトマウスの痙性対麻痺症状の解析
丸山 智広¹, 河野 望³, 原 央子³, 馬場 崇¹, 岡野 ジェイムス洋尚³, 新井 洋由², 谷 佳津子¹ (¹東京薬大・生命, ²東大院・薬・衛生化学, ³東京慈恵会医科大・医・再生医学研究部)

1T特p-06 (1P0309) [14:50]

ホスホリパーゼAの細胞内基質の同定
川名 裕己¹, 中永 景太¹, 青木 淳賢^{1,2} (¹東北大・院薬・分子細胞生化学, ²CREST・JST)

1T特p-07 (1P0310) [15:00]

肝臓における新規グリロホスホコリン産生経路
平林 哲也¹, 毛利 美紗¹, 徳岡 涼美², 池田 和貴^{3,4}, 中田 理恵子⁵, 北 芳博^{2,6}, 村上 誠^{1,7} (¹都医学研・脂質代謝, ²東大・院医・リビドミクス, ³慶大・先端生命研, ⁴理研・IMS・メタボローム, ⁵奈良女子大・食物栄養, ⁶東大・院医・ライフサイエンス, ⁷AMED-CREST)

1T特p-08 (1P0311) [15:10]

ラビリンチュラ類のスフィンゴリン脂質分解酵素の同定と機能解析
永富 正樹¹, 石橋 洋平³, 富永 弦², 小原 淳一郎², 沖野 望³, 伊東 信^{3,4} (¹九大・農・生資環, ²九大院・生資環・生命機能, ³九大院・農・生命機能, ⁴九大院・農・i-BAC)

1T特p-09 (1P0312) [15:20]

PLAAT-3はPex19pを介してペルオキシソーム含量を制御する
宇山 徹¹, 渡邊 政博¹, 川合 克久², 河野 望³, 坪井 一人¹, 荒木 伸一², 新井 洋由³, 上田 夏生¹ (¹香川大・医・生化学, ²香川大・医・組織細胞生物学, ³東大院・薬・衛生化学)

1T特p-10 (1P0313) [15:30]

ヒト赤血球膜におけるスクランブラーゼPLSCR1のリン脂質輸送メカニズム
新敷 信人, 高桑 雄一 (東京女子医科大学)

1T特p-11 (1P0327) [15:40]

過剰なコレステロール生合成を抑制する新規代謝経路の解明
弗田 彩心, 北條 渉, 宮崎 珠子, 土谷 和平, 木村 賢一, 山下 哲郎, 宮崎 雅雄 (岩大農)

1T特p-12 (1P0328) [15:50]

筋芽細胞C2C12を用いたステロイド合成とプレゲネロン硫酸抱合体の役割
藤本 純平¹, 前田 尚之^{1,2}, 佐藤 倫子¹, 家子 貴裕¹, 岩野 英知¹, 横田 博¹ (¹酪農学園大・獣医・獣医生化学, ²化合物安全性研究所)

1T特p-13 (1P0329)	[16:00]
フタホシコロギスのリボホリンIIIによる摂食行動の変化	
永田 晋治, 小沼 貴裕 (東大院・新領域・先端生命科学)	
1T特p-14 (1P0358)	[16:10]
魚鱗癬原因遺伝子産物PNPLA1はアシルセラミドの生合成に関与している	
神山 望 ¹ , 大野 祐介 ^{1,2,3} , 中路 翔太 ³ , 木原 章雄 ^{1,2,3} (¹ 北大・薬, ² 北大院・薬, ³ 北大院・生命)	
1T特p-15 (1P0359)	[16:20]
O-結合型糖鎖様構造を持つ遊離糖鎖とその機能について	
平山 弘人, 鈴木 匡 (理研GRC・システム糖鎖G・糖鎖代謝T)	
1T23p 第23会場(神戸国際展示場 2F 2B会議室)	14:00-16:30
細胞の構造と機能 II	
オーガナイザー：原 太一(群馬大学) 長谷川 純矢(大阪大学)	
1T23p-01 (1P0047)	[14:00]
宿主インポーターアルファによるA型インフルエンザウイルスNP (ヌクレオプロテイン)の非古典的核移行シグナル認識機構の構造基盤の解明および創薬への展開の可能性	
中田 遼平 ¹ , 平野 秀美 ¹ , 松浦 能行 ^{1,2} (¹ 名大・院理・生命理学, ² 名大・理・構造生物)	
1T23p-02 (1P0048)	[14:10]
PI4KIIαは初期エンドソームのPI(4)Pを産生し、選別輸送を制御する	
逸見 祐次 ¹ , 森川 由章 ² , 池田 なるみ ² , 大江 夏子 ¹ , 藤田 秋一 ³ , 竹居 孝二 ² , Shane Minogue ⁴ , 田邊 賢司 ¹ (¹ 東京女子医大・総研, ² 岡山大・院・医歯薬・生化学, ³ 鹿児島大・共同獣医・分子病態学, ⁴ ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
1T23p-03 (1P0049)	[14:20]
Ras-PI3Kシグナルによるエンドサイトーシス制御機構におけるミトコンドリアポタンパク質の関与	
佐藤 純, 藤岡 容一朗, 堀内 浩水, ネパール プラバ, 西出 真也, 南保 明日香, 大場 雄介 (北大・院医・細胞生理)	
1T23p-04 (1P0050)	[14:30]
Analysis of outer membrane insertion mechanism of yeast mitochondrial protein	
Jiyao Song ¹ , Yasushi Tamura ² , Tohru Yoshihisa ³ , Toshiya Endo ⁴ (¹ Grad. Sch. of Sci., Nagoya Univ., ² Grad. Sch. of Sci., Yamagata Univ., ³ Grad. Sch. of Life Sci., Univ. of Hyogo, ⁴ Fac. of Life Sci., Kyoto Sangyo Univ.)	
1T23p-05 (1P0051)	[14:40]
Ups1-Mdm35複合体の結晶構造から明らかになったミトコンドリア膜間のリン脂質輸送機構	
渡邊 康紀 ¹ , 田村 康 ² , 河野 慎 ¹ , 遠藤 斗志也 ¹ (¹ 京産大・総合生命, ² 山形大・理)	
1T23p-06 (1P0052)	[14:50]
ミトコンドリア・小胞体間リン脂質輸送反応の再構成実験系の確立	
田村 康 ¹ , 遠藤 斗志也 ² (¹ 山形大・理・物質生命化学, ² 京産大・総合生命)	
1T23p-07 (1P0058)	[15:00]
長時間飢餓時におけるオートファジー停止機構の解析	
吉良 新太郎 ¹ , 野口 雅史 ² , 野田 健司 ^{1,2} (¹ 阪大・院菌・フロンティア, ² 阪大・院・生命機能)	
1T23p-08 (1P0059)	[15:10]
出芽酵母のオートファゴソーム形成におけるAtg4の機能解析	
平田 恵理 ¹ , 鈴木 邦律 ² (¹ 東大・院新領域・先端生命, ² 東大・院新領域・バイオイメージング)	
1T23p-09 (1P0060)	[15:20]
オートファゴソーム初期形成過程における膜動態の解析	
上田 洋行, 吉森 保, 濱崎 万穂 (大阪大院・医学系研究科)	
1T23p-10 (1P0061)	[15:30]
神経特異的オートファジーレスキューマウスの全身網羅的解析	
吉井 紗織 ¹ , 久万 亜紀子 ^{2,3} , 栗川 義峻 ⁴ , 山本 篤 ⁴ , 板倉 英祐 ⁵ , 原 太一 ⁶ , 設楽 浩志 ⁷ , 水島 昇 ² (¹ 東医歯大・医・細胞生理, ² 東大・医・分子生物, ³ 科学技術振興機構・さきがけ, ⁴ 東医歯大・医・産婦, ⁵ 千葉大・融合・ナノバイオ, ⁶ 群馬大・医・細胞構造, ⁷ 都医学研・基盤技術研究センター)	

1T23p-11 (1P0062) **[15:40]****選択的オートファジー時における液胞加水分解酵素Ape1の認識機構の解明**山崎 章徳¹, 渡邊 康紀^{1,2}, 足立 わかな³, 的場 一晃¹, 桐浴 裕巳⁴, 鈴木 邦律⁵, 中戸川 仁⁴, 大隅 良典⁶, 稲垣 冬彦³, 野田 展生¹ (¹微生物化学研究会, ²京産大・総合生命科学, ³北大・院先端生命科学, ⁴東工大・院生命理工, ⁵東大・院新領域創生科学, ⁶東工大・フロンティア)**1T23p-12** (1P0063) **[15:50]****C. elegansにおける父性ミトコンドリア選択的オートファジーのメカニズム**佐藤 美由紀¹, 佐藤 克哉¹, 戸村 琴音², 佐藤 健² (¹群大・生調研・生体膜機能, ²群大・生調研・細胞構造)**1T23p-13** (1P0064) **[16:00]****赤痢アメーバ原虫におけるAtg5-12/16複合体の同定**津久井 久美子¹, 宮本 絵梨^{1,2}, 渡辺 菜月^{1,2}, 柴田 久美子¹, 野崎 智義^{1,2} (¹感染研・寄生動物, ²筑波大・院・生命環境)**1T23p-14** (1P0065) **[16:10]****マウスとゼブラフィッシュを用いた水晶体オルガネラ分解を担う新規分解経路の分子機構の解明**森下 英晃¹, 青山 裕加^{1,2}, 水島 昇¹ (¹東大・医・分子生物, ²東大・医・眼科)**1T23p-15** (1P0066) **[16:20]****ATG非依存性オートファジー、alternative autophagyに関わるAAG3の機能解析**

砂田 麻里子, 山口 啓史, 荒川 聡子, 清水 重臣 (東京医科歯科大学・難治研・病態細胞生物)

1T25p 第25会場(神戸国際展示場 3F 3B会議室) **14:00-16:30****ゲノムと遺伝情報 II**オーガナイザー: 木村 宏(東京工業大学)
小林 久人(東京農業大学)**1T25p-01** (1P0581) **[14:00]****オートファジーは減数分裂における正常な染色体分配に必要である**松原 央達¹, 山本 歩^{1,2} (¹静大院・創造・バイオ, ²静大院・理・化学)**1T25p-02** (1P0582) **[14:10]****減数分裂期のテロメアによるセントロメア制御とスピンドル形成における役割**勝俣 和人¹, 平安 亜美¹, 建徳 一樹¹, 松原 央達³, 市川 絢登², 西 絵里子², 和久田 愛理², 三好 純平², 山本 歩^{1,2,3} (¹静大・院理・化学, ²静大・理・化学, ³静大・創造・バイオサイエンス)**1T25p-03** (1P0583) **[14:20]****細胞核の形態変化を指標としたスクリーニングから明らかにされた多倍体細胞における細胞老化の進行**定家 真人^{1,2}, Christian Dillon³, 成田 昌子¹, Andrew R.J. Young¹, Claire J. Cairney⁴, Lauren S. Godwin⁵, Christopher J. Torrance⁶, Dorothy C. Bennett³, W. Nicol Keith⁴, 成田 匡志¹ (¹CRUK, CI. Univ. of Cambridge, ²京大・院生命科学・細胞周期学, ³CRT, DL, ICS, WWCRC, Univ. of Glasgow, ⁴St. George's, Univ. of London, ⁵Horizon Discovery Ltd)**1T25p-04** (1P0584) **[14:30]****白血病病因因子Nup98-HoxA9の機能解析**岡 正啓¹, 村 苑子², 山田 幸司¹, Percival Sangel¹, 大川 恭行³, 木村 宏⁴, 米田 悦啓⁵ (¹医薬基盤健康・細胞核輸送, ²阪大・生命機能・細胞内分子移動, ³九大・医・先端医療医学, ⁴東工大・生命理工・生体システム, ⁵医薬基盤健康)**1T25p-05** (1P0589) **[14:40]****ヒストンバリエントH2A.B1は、ヌクレオソーム中で自らを他のH2A/バリエントと置き換える**

有村 泰宏, 矢島 成人, 白山 一義, 野田 真美子, 藤田 理紗, 胡桃坂 仁志 (早稲田大・先進理工)

1T25p-06 (1P0590) **[14:50]****新規ヒストンH3バリエントH3mm7は骨格筋分化能を制御する**原田 哲仁¹, 前原 一満¹, 田口 裕之², 佐藤 優子³, 謝 炎², 立花 太郎⁴, 木村 宏³, 胡桃坂 仁志², 大川 恭行¹ (¹九大・医院・エビジェネティクス, ²早稲田大・院・先進理工, ³東工大・生命理工, ⁴大阪市大・工・細胞工学)**1T25p-07** (1P0591) **[15:00]****ヒストンH1ユビキチン化によるG1-S遺伝子群の転写制御**加藤 広介^{1,2}, 永田 恭介¹ (¹筑波大学, ²医学医療系/人間総合科学・感染生物学)

1T25p-08 (1P0592)

[15:10]
ES細胞におけるChd2クロマチンリモデリング因子の機能解析

仙波 雄一郎^{1,2}, 小田原 淳^{1,2}, 林 正康^{1,2}, 工藤 健介^{1,3}, 國吉 勇樹¹, 前原 一満¹, 原田 哲仁¹, 立花 太郎⁴, 沖 真弥⁵, 目野 主税⁵, 大川 恭行⁵ (九州大学 医学研究院先端医療医学部門 エピジェネティクス分野, ²九州大学 医学研究院病態修復内科学, ³九州大学大学院 消化器・総合外科, ⁴大阪市立大学 大学院工学研究科化学生物系専攻, ⁵九州大学大学院 発生再生医学分野)

1T25p-09 (1P0593)

[15:20]
クロモドメインタンパクCdy12はES細胞の未分化性維持に関与している

服部 奈緒子¹, 木村 佳那¹, 田口 純平³, 飯田 直子¹, 竹島 秀幸¹, 今井 俊夫², 山田 泰広³, 牛島 俊和¹ (国立がん研セ・研・エビゲノム解析分野, ²国立がん研セ・研・動物実験支援施設, ³京大IPS研・初期化機構解析部門・幹細胞腫瘍学)

1T25p-10 (1P0594)

[15:30]
異性型ポリコム複合体構成因子の欠損がES細胞の分化に与える影響

相下 紘貴^{1,2}, 近藤 隆³, 古関 明彦^{1,2} (¹理研・IMS, ²千葉大・医学薬学府・医科学専攻, ³神奈川科学技術アカデミー)

1T25p-11 (1P0595)

[15:40]
ヒトPRC2 (Polycomb Repressive Complex 2) 複合体構成因子の解析

石本 祥平, 蛭名 峰子, 柴田 幸子, 山口 康祐, 磯部 真也, 大久保 義真, 長尾 恒治, 小布施 力史 (北大・院先端生命・分子細胞生物)

1T25p-12 (1P0596)

[15:50]
Luminal型乳癌に重要なヒストンデメチラーゼJARID1B (KDM5B)の機能解析

山本 昌司^{1,4}, Zhenhua Wu^{1,5}, Hege G. Russnes^{1,2}, 高木 慎二^{1,6}, 丸山 玲緒^{1,3}, Kornelia Polyak¹ (¹ダナファーマー癌研究所, ²オスロ大学病院, ³札幌医科大学・医・分子生物学, ⁴第一三共株式会社, ⁵H3 Biomedicine, ⁶武田薬品工業株式会社)

1T25p-13 (1P0597)

[16:00]
Regulation of p53 activity by the lysine demethylase KDM7A

Masato Yonezawa^{1,2}, Andreas Schmidt^{3,4}, Karl Mechtler^{2,3}, Thomas Jenwein^{2,5}, Hiroyuki Aburatani¹ (¹RCAST, The Univ. of Tokyo, ²Research Institute of Molecular Pathology (IMP), ³Institute of Molecular Biotechnology (IMBA), ⁴University of Vienna, ⁵Max-Planck Institute of Immunobiology and Epigenetics)

1T25p-14 (1P0598)

[16:10]
ヒストンH4テイルのリジンアセチル化によるヌクレオソーム構造への影響

梅原 崇史^{1,2,3}, 若森 昌聡^{1,2}, 藤井 佳史^{2,4}, 須賀 則之^{2,5}, 白水 美香子^{1,2}, 坂本 健作^{1,2}, 横山 茂之^{2,4} (¹理研・CLST, ²理研・SSBC, ³JST・さきがけ, ⁴理研・横山構造生物学, ⁵明星大・総合理工)

1T25p-15 (1P0599)

[16:20]
ヒストンメチル化酵素Setdb1は造血幹前駆細胞のエネルギー代謝に必須である

小出 周平¹, 田久保 圭誉², 大島 基彦¹, 宮城 聡¹, 更屋 敦則¹, 青山 和正¹, 王 長山¹, 松井 啓隆³, 木村 宏⁴, 眞貝 洋一⁵, 須田 年生², 岩間 厚志¹ (¹千葉大・院医・細胞分子, ²慶應大・院医・発生分化, ³広大・院医・がん分子病態, ⁴東工大・院理・生体システム, ⁵理研・細胞記憶研究室)